



★大阪電器からプロフェッショナル・シリーズとして本格的なウーファーとトワイターが売り出された。トワイター TW-5 (1) はフレア・カットオフ 8000c/s のコーン型で、ボイスコイルの直径 1 $\frac{1}{2}$ "、空隙磁束密度 15,000 ガウス、上下 40° 水平 120° に拡散する。最大許容入力 1,200 c/s 以上で 25 W ウーファー W-15 (2) は 15 インチで 25 W、3 インチという大きなボイスコイルをもち、磁束密度 11,000 ガウス、 f_s 40 c/s、ボイスコイル・インピーダンスはいずれも 16 Ω 。

★不二電器でもいよいよ本格的な 2ウェイ・SP を発表した (3)。 f_s は 35 c/s、15,000 c/s まで再生するという、同時にトワイター、ネットワークなども発売される予定である。

★パイオニアでは好評の PE-8 をさらに改良し、廉価とした P15-5B (4) を発売。最大許容入力 5 W、VC=16 Ω 、 f_s 35-70 c/s、11,000 ガウス。

★不二電器であらたに P-7 部 3 スピード・モーター (5) を発表した。ターン・テーブルは 19°、コンデンサーにより 7% の速度変動幅がついており、モーターは以前の P-6 と同じ 4 極インダクション部、電線スイッチを切るとアイドラーが外れるよう

に改良された。ずっど低廉になる見込み。

★鈴木電機の特 L-1 型 (6) (V 16,800) は L-1 型を改良し、モーター・ボードは 10 mm の鉄筋物、ターン・テーブルは直線筋物を使い、スタジオ用として製作された。L-8 型 (7) (V 6,500) は L-5 型を小型化し、19° のターン・テーブル、モーター・ボードとも 2.3 mm 厚の鉄板製である。

★山本電気では (8) のようなスマートなプリアンプ・キット (HP-150 及び 200) を発表した。150 型はシャーシ、ネーム・プレート、及び特殊部品別 200 型は真空管を除く全部品類で、ラジオ部は高イコライザーは C-R 型を採用、パラフレ、クリスタル、いずれの PU も使用できる。

★(9)~(12) はアイワのアンプ・キット群で、専らプリアンプ A-31-E は RIAA と AM、EU78 の 3 種のイコライザー (C-R) 付、高級なものを望む向には、美しいキャビネットに収められた A-301-ET があり、NF 部による 3 種のイコライザーとターン・コントロールがついている。パワー・アンプは A-51 (6V6-S)、AU-301 (6V6-PP アルトフラニア)、A-1501 (807-PP) の 3 種があり、トランス類はいずれも国産最高のタムフ調が使われて

いる。

★2 月号に紹介されたオレイタイプ PU レストは 12" レコードのみにしか使用できなかったが 10" 盤、ドーナツ盤にも切換えられるようにしたのが今回の 3 ウェイ・レスト (13) で、価格は ¥160 (送料別)。(14) はオペレーション・アシスターと呼ばれるレコード演奏操作の補助装置で、これを装着すればプレイヤーのとり扱いは非常に容易になる。1 ウェイ・レスト附 ¥750、3 ウェイ・レスト附 ¥650、以上京都合衆研製所。

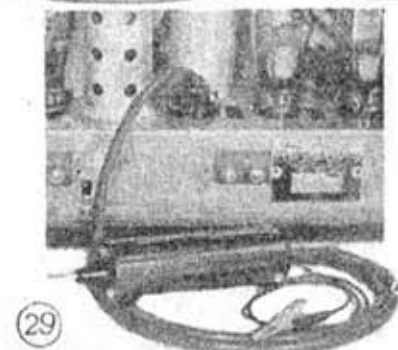
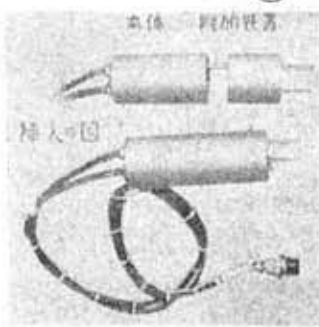
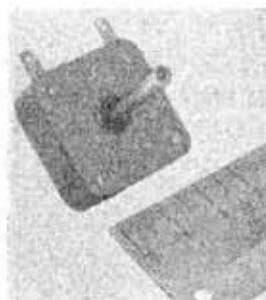
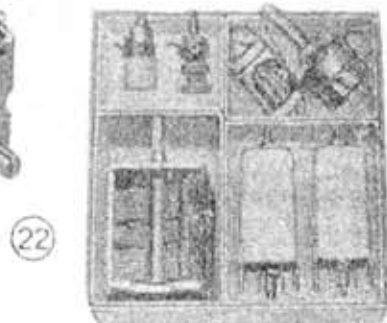
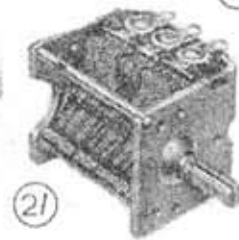
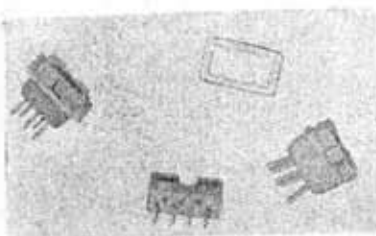
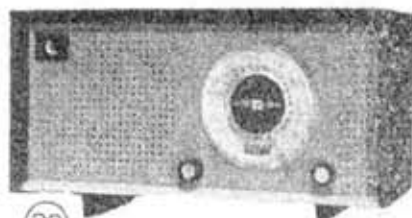
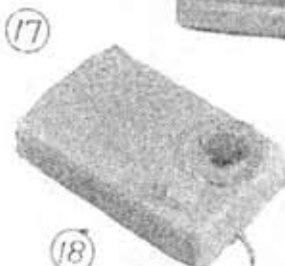
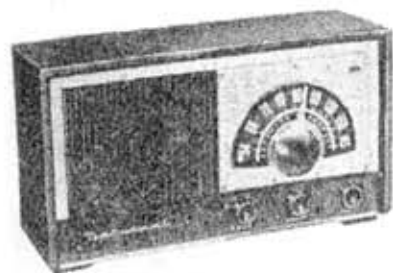
★サニート T-29 (15) は、大量生産によってコストを下げたマグネチック PU で、出力 0.5 V、針圧 38 g、交換針式、60-6,000 c/s ± 5 db、ゴムバーは 10 年以上全く位置が変わらない、¥700。

★(16) はパイオニアのクリスタル PU、P1E-2300 型、1.5 V 以上の出力が得られ、針圧 35 g、60-7,000 c/s、防湿処理は完全である。

★松下電器では「動くマジック・アイ」6E5P を採用した 6 球スーパー「BL-255」(17) を発売。特設はマジック・アイが曲針を兼ねているので回線をとりやすい。6AR5-6X4 シリーズの mT 管でスピーカーは 7" PM、外径は 500×275×150。

新製品紹介

SYŌKAI
SH-SEIUN



★外径 140×86×31 mm, コンパイス辞典よりも小さく、電池共 370g という小型軽量のポータブルがある。スタンダード無線の SR-100 型 (18) で、特殊部品使用の性能優秀なスーパー (V3,900), もうひとつは交直両用の SR-400 型 (19) で、210×140×58 mm, 電池共 1.5 kg という素晴らしい。ダイヤルが大きく、同調がとりやすい ¥8,800。

★クライスラー今月のキッキットは、ミニスーパー用の 5M-2 型 (20) で、音響的にも熱にも十分注意されている。440×230×210, スピーカーは 5-6,5" まで、P1-80BK も使え、マジック・アイ付 6球スーパーが組める。また今回技術部を強化し、ホーム・キットを発売。まず先月分に発表の S-12 型をホーム・キット化した。

★コスモス無線用品 KK で、ポータブル用の超小型 3 連 VC, PV-36 (21) を発売した。特に頑強に作られ、衝撃やハウリングに留意されている。また上のバリコンを含む 5 球ポータブルの主要部品キット HPK-1 (22) も売り出された。コア入りの超小型コイル、巻線コアの IPT, 双極単接 S 付 VR それにケミコンから成っている。

★三菱電機からサブ mT 用のソケット (23) が

発売された。5,6,7 本脚用の 3 種がある。本邦最高の超録材料と、アメリカより輸入したベリリウム鋼が使われている。¥70。また先月発表した 2 連バリ・バリコンに続いてシングル・バリ・バリコン (24) を発売した。28×25×12 mm という超小型で、容量は 290 pF。ポケット・ラジオには最適であろう。価格は ¥350。

★サニットが本脚 mT 専用シールド付ソケットを完成。発売した (25)。接点には厚い銀メッキをほどこし、絶縁材料により MT-9AS, 9BS と分けられ、9AS が ¥195, 9BS は ¥157。

★東京レコード工業 KK (文京区林町 62) から円盤録音機キット及びサニットが発売された (26)。3 スピードで 12" の録音機まで録音できる。直営管は 6S17×2.6V0, 6X6, ケースは 30×32×20 cm. である。サニット定価 ¥15,600。

★スター無線の S-121 W 広帯域プローブ (27) は RF 用の本体と AF 用の附加装置から成り、本体には 1N34 或は 6AL5 を使用。入力容量 5 pF で 20 ke-20 Me 間を測定。附加装置をはめ込むとアノード・コンデンサーが 0.2 μF となり、2 e/s-20 ke の AF に利用できる ¥2,500, キット ¥1,500, 同

時に R-60T シグナル・インジェクター (28) も発売。普及型であるが IP は 405-185 ke をバンド・スプレッドし、1 ke 目盛が施され、50 ke から 20 Me までをほぼ 100% のバンドでカバーする。変調は 600 c/s, 外部変調可能。さらに低周波の出力をとりだせるので、アンプのテストにも利用できる。正価 ¥5,000。

★双陸電子工業 KK から「スーパー・トローター」(29) という便利な測定器が発売された。これは D1H3A を使った 5 球スーパーの D1H3A を抜きとり、代わりにこれのプラグを挿入すると、その受信機自体がシグナル・トローターとして動作する。

★松下電器のトーン・スイッチ (30) は、構造が簡単でしかも頑定で故障がなく価格も ¥88 と安い。同時に 42-30BK 用のパワー・トランス (分1415), 普及型ダイヤル (ND-123, 221), 分1617 型 PU 用サファイア交換針, ポータブル・セット用, 小型 μ 同調 IPT (分1770) など多数の部品が発売されている。

★ポータブル・ラジオ・ファンにおなじみのアボロの部品に、今回さらにアボロ 5678 (ロード・システム・高圧型五極管) が追加された (31)。